

# 環境・社会報告書 2016

Environmental & Social Report

(2015年1月~12月)



## Kijima

和の力をみんなで合わせ、世界を越えて行こう。

### Beyond the World



## ■目次

目次	1
社長メッセージ	2

## ■企業プロフィール

会社概要	3、4
主要製品	5

## ■環境側面

環境方針	6
環境マネジメント	7
環境負荷の低減	8、9
環境保全活動	10、11

## ■社会側面

CSR推進体制、リスクマネジメント	12
お客様とともに	13、14
社員とともに	15、16
国際交流	17
地域社会とともに	18

## ■環境データ

物質・エネルギー収支	19
P R T R対象物質収支	19
環境測定データ	20

対象範囲：小島プレス工業株式会社  
(本社・下市場工場、高岡工場、小島総合研究所、黒笹技術センター、足助作業所)

対象期間：2015年1月1日～12月31日  
(一部に、対象期間外の活動も含まれます。)

参考文献：環境省「環境報告ガイドライン(2013年版)」



取締役社長

小島洋一郎

【社是】

和

【長期テーマ】

人をつくり 人をまもる  
対話と参加

## ■社長メッセージ

2015年は得意先のトヨタ自動車様、仕入先各社様に支えられ、安定した生産を続けることができました。そして、国内での厳しい価格競争、競合他社が海外にも広がる中で、社員一人ひとりが危機感を持ち、改善と挑戦を続けてきたことも、また一つ会社の成長につながったと感じております。

今年には会社方針に「各社・各職場の新事業領域を生み出す」と掲げました。新事業を担当する部署だけでなく、事務・技術・技能すべての部署が一体となって同じベクトルに進んでいくことで、海外を含めたチーム小島で成長していきたいと思っております。

また、厳しい状況の中でも収益が出せるよう世界一安いものづくりを進めていくことはもちろんのこと、「物の命を全うせよ」「古を生かす」といった創業の精神を持ち続けて環境活動を推進してまいります。

今後も皆様のご理解とご支援に感謝するとともに、皆様から信頼される企業を目指していきます。また、社員一人ひとりが切磋琢磨することで企業体質を強化し、家族・地域関係まで含めた「和」の具現化に精進していきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

これからも、皆様のさらなるご支援・ご指導をお願い申し上げます。

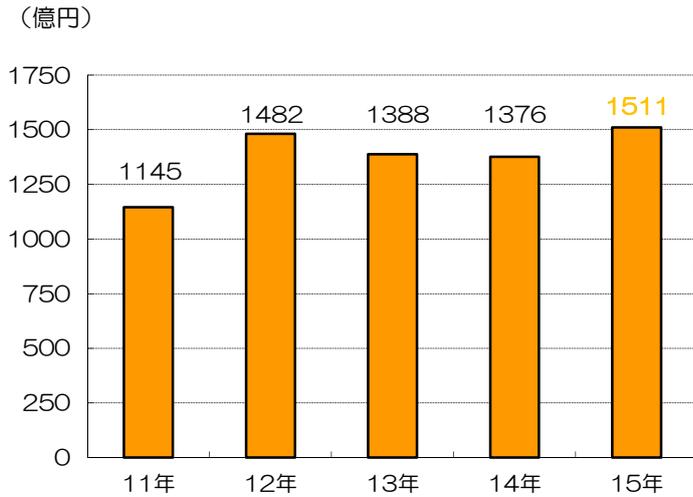
# 会社概要

設立  
所在地  
資本金  
従業員数  
売上高  
事業内容

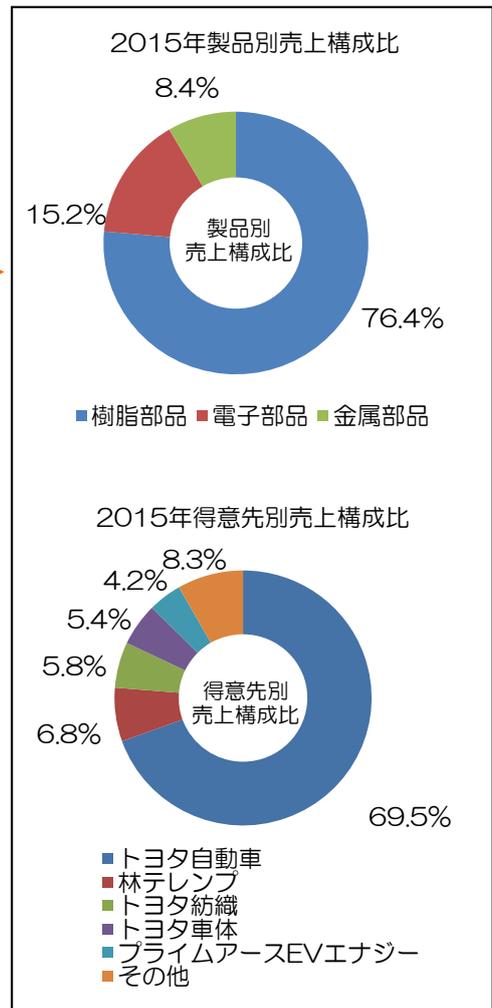
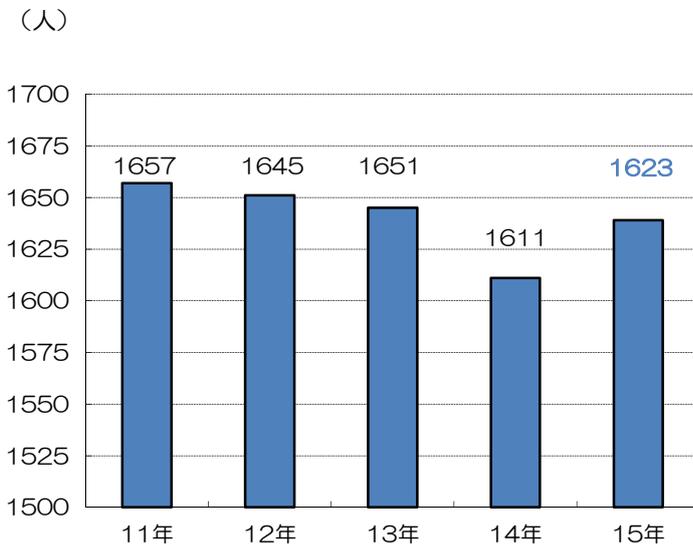
1938年5月20日  
愛知県豊田市下市場町3丁目30番地  
4億5千万円  
1,623名  
1,511億円  
自動車部品製造  
【本社・下市場工場】  
生産準備機能、営業・生産管理、  
プレス・樹脂部品の開発・設計・  
生産準備・製造  
【高岡工場（足助作業所）】  
樹脂部品の製造  
【黒笹技術センター】  
電子部品の開発・設計・生産準備・製造  
【小島総合研究所】  
自動車部品の研究および開発



## 売上高



## 社員数



## 経営の基本的考え方

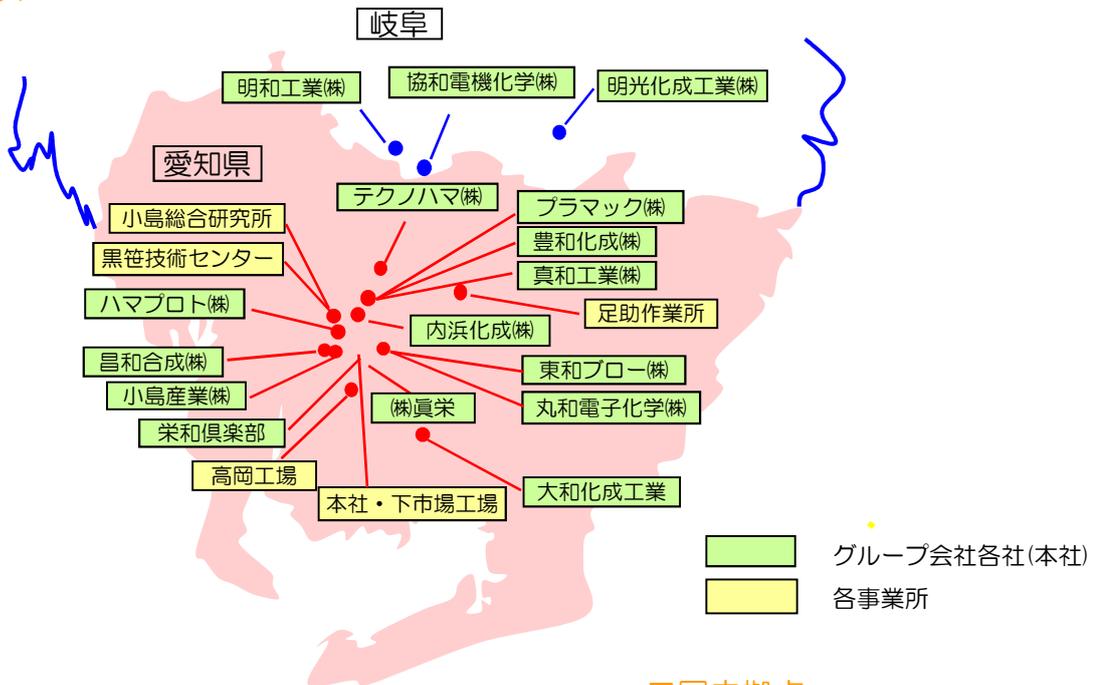
～人中心の経営～

信用第一に徹しながらも、鉄から樹脂、さらに電気・電子部品へと積極的に事業を拡大

地球環境資源を大切にしながら企業としての付加価値を生み出す



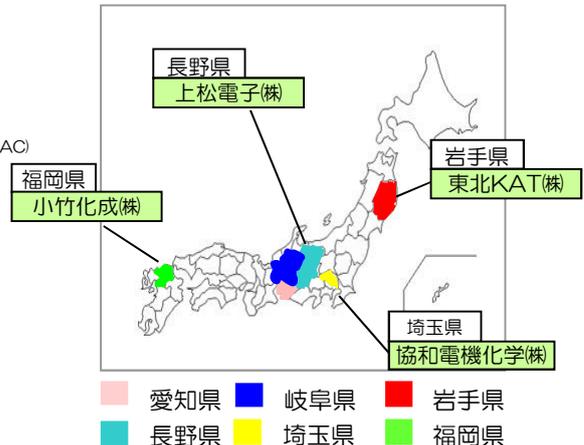
## グループ会社紹介



## 海外拠点



## 国内拠点





# 環境側面

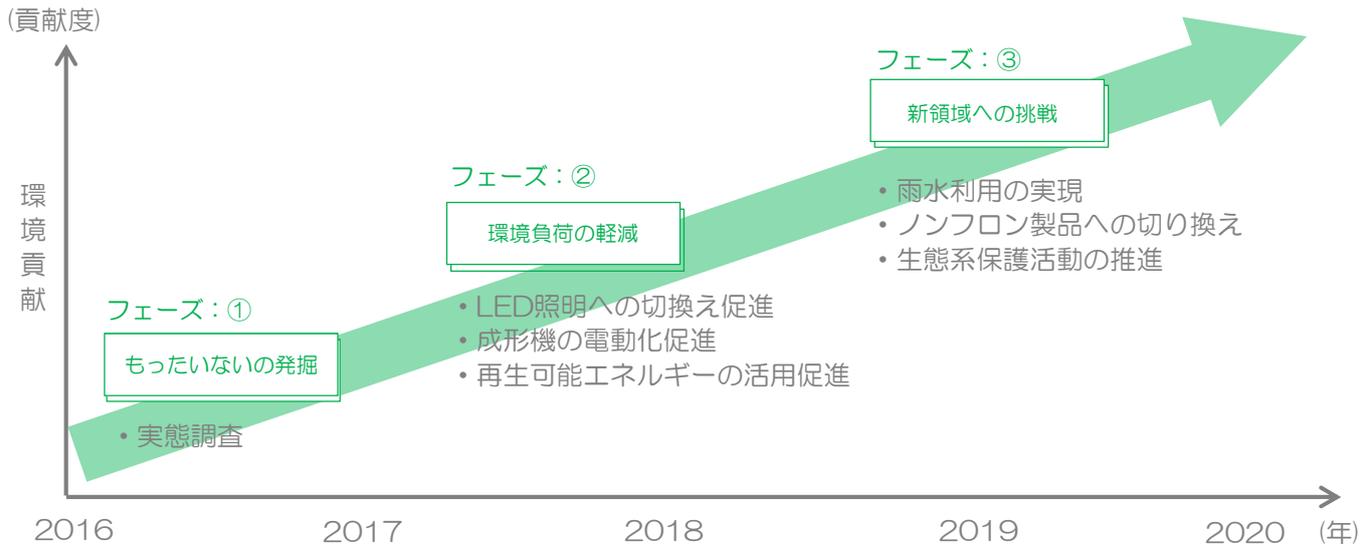


## 『環境中期活動計画』

私達は「環境基本方針」に基づき将来に向けた環境活動に積極的に取り組むために、「環境中期活動計画」を制定し、2020年に向けた中期的な環境ビジョンを記載します。

### ■環境ビジョン

スローガン『地球環境との調和を目指した人づくり、ものづくりを進めよう』



### ■品質・環境統合方針

私達は、「品質第一主義」を貫き、常にQ(品質)、C(コスト)、D(納期・スピード)の改善を追求し続け、お客様の信頼と満足を向上させると同時に、環境保護全活動を積極的に展開して地域社会に貢献し、企業としての社会的責任を果たしていきます。

- ◆鉄・樹脂・電子の自動車部品を製造する当社は、環境も品質の一つと位置付け、開発から設計・生産準備・生産・納入に至るまでの各段階で品質・環境を追求し、お客様や地域社会の満足を高めます。
  - ・お客様のニーズを的確に捉え、良いものをタイムリーに提供します
  - ・環境影響を適正に評価し、環境負荷物質の低減、二酸化炭素排出量の削減など、環境保護活動を積極的に推進します。
- ◆ISO規格やお客様の要求事項、法規則、地域との協定等を満足・順守させます。
- ◆目標を定めてPDCAのサイクルを回し、これらの達成と汚染の予防、及び環境保護に努めます。また、目標を適宜レビューするとともに、統合(品質・環境)マネジメントシステムが効果的であり続けるよう、適正な監視・測定、内部監査、是正処置などを実施して継続的に改善を進めます。

※適用範囲 小島プレス工業(株)

(本社・下市場工場、高岡工場、小島総合研究所、黒笹技術センター、足助作業所)

### ■教育・啓蒙活動

当社では、社員一人ひとりが環境への理解を深め、全員参加による環境活動を推進するため、様々な環境教育や啓蒙活動を通して、環境に対する理解と意識向上を図っています。

全社員には「品質・環境統合マネジメントシステムポケットブック」を配布し、品質・環境方針・目標の周知と各自の実施事項を記入するようにしています。入社時の教育や中堅社員・新任管理職を対象としたEMS教育は、階層別教育として体系化しています。

#### 2015年度の教育・啓蒙活動

- (1) 入社時のEMS教育
- (2) 内部監査員教育
- (3) LCA基礎教育
- (4) 環境月間『エコ活動』の紹介
- (5) ポケットブックの配布
- (6) 当社の環境保全への取り組み
- (7) ECO検定取得推進

# 環境マネジメント

## ■環境目的・目標

当社は、①環境に優しいものづくり ②環境に優しい製品・技術の開発 ③CO<sub>2</sub>排出量の低減、廃棄物低減一を軸に、全社の環境目標として活動しています。 2015年度は下記のように活動を推進しました。 2016年度も引き続き高い目標を掲げ、活動を推進していきます。

活動項目		目標	実績	評価	活動内容
①	主材料歩留りの向上	鉄（改善達成率）100%	100%	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はんだ槽の小型化・集約</li> <li>・はんだの再生</li> <li>・粉碎リターン</li> </ul>
		樹脂 93%	94.2%	○	
		電子 67.8%	72.4%	○	
	工程内不良率の低減	鉄 0.01%	鉄 0.01%	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料別・製品別に原因を追求し、工程内不良を低減</li> <li>※新型車の立ち上げにより樹脂成型の不良率が低下</li> </ul>
		樹脂 0.302%	樹脂 0.363%	×	
		電子 0.05%	電子 0.005%	○	
②	環境に配慮した設計・開発件数	95件	98件	○	
③	開発・設計でのCO <sub>2</sub> 改善量	25.796t	38.1333t	○	
	CO <sub>2</sub> 排出量の低減	315.872t	412.644t	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排熱回収チラーの導入</li> <li>・射出成形機の電動化</li> </ul>

## ■ISO14001の取得



### ●外部審査

品質と環境を統合した「統合マネジメントシステム」として運用しています。全員参加のもと組織的・継続的な環境保全活動に取り組んでいます。

## ■ISO14001取得状況(オール小島)

小島プレス工業	2002年	9月
大和化成工業	2000年	8月
協和電機化学	2001年	1月
内浜化成	2001年	5月
小島産業	2001年	8月
豊和化成	2003年	4月
真和工業	2004年	12月
フレックスキャンパス	2004年	1月
ハマプロト	2005年	7月
丸和電子化学	2006年	9月
明光化成工業	2006年	11月
昌和合成（駒場工場）	2006年	12月
自動車部品栄和協同組合	2006年	12月
眞栄	2007年	8月
テクノハマ（本社工場）	2007年	10月
総和運輸	2009年	3月
東和フロー	2016年	1月

## ■エコアクション21取得状況(オール小島)

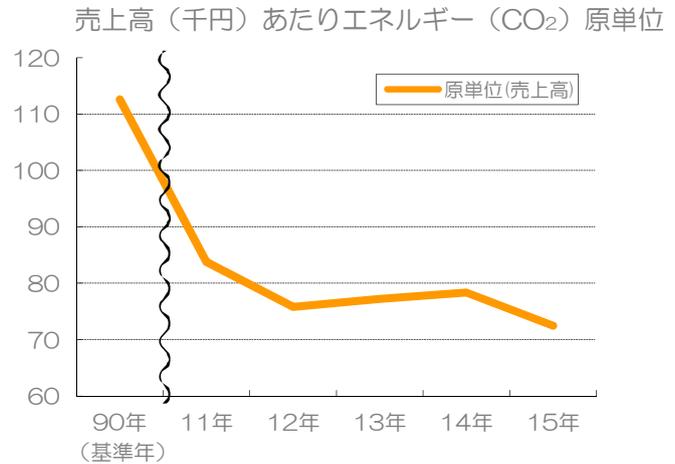
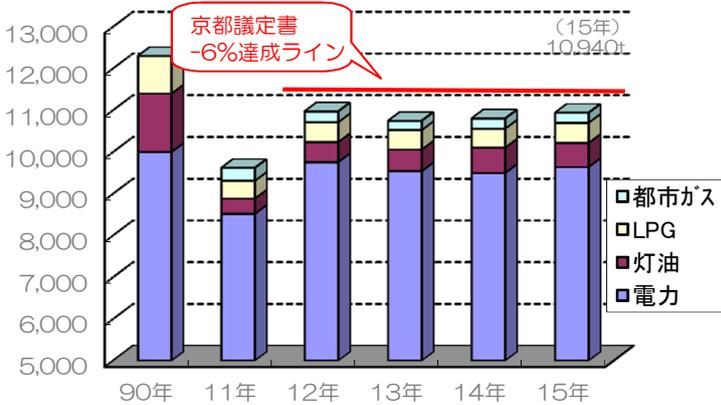
ブラマック	2007年	4月
-------	-------	----

# 環境負荷の低減

## CO2排出量の低減

当社では、地球温暖化問題を重く受け止め、CO2排出量低減を生産・物流の両面から推進しています。2015年度は、環境保全委員会を中心に、節電活動の継続と生産工程における固定エネルギーのさらなる削減に取り組みました。

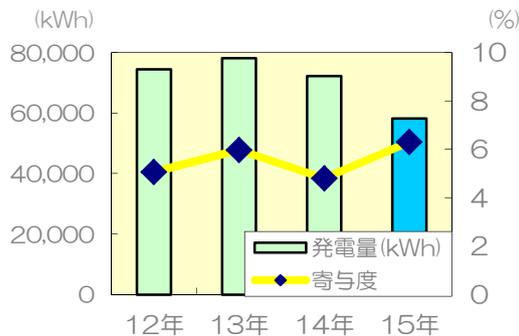
その結果として、CO2排出量は、京都議定書が定める1990年比-6%を達成。またエネルギー効率を表す原単位も向上しました。



## 太陽光発電システム

データセンターの使用電力40kWhを補うことを狙いに、2010年から太陽光発電システムを稼働させています。

発電実績 累積426,316kWh/年  
(CO2換算 158 t)



厚生棟屋上の太陽光パネル

## 騒音軽減活動



●防音壁の設置(下市場工場)

工場からのプレス音を軽減させるために工場外壁(敷地境界側)に防音壁を設置しました。敷地境界での測定結果も騒音基準値(豊田市との協定基準値)を下回っています。

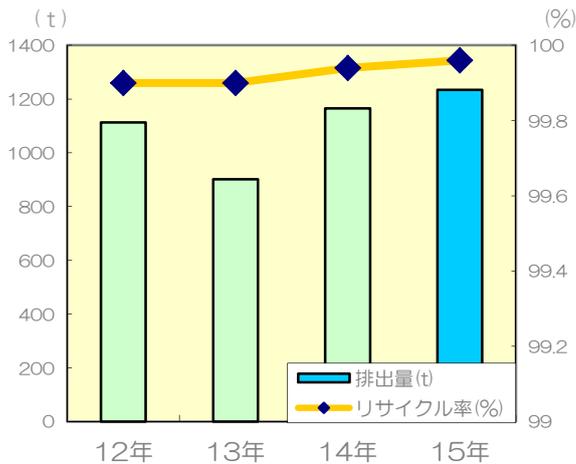


●リフト作業音の軽減

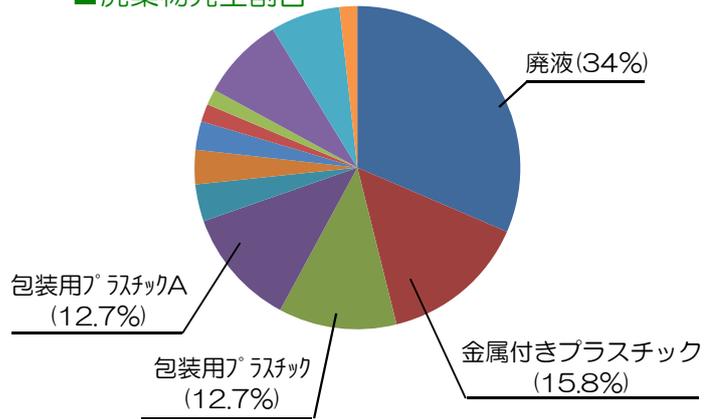
リフト作業時における爪の金属音及び箱やパレットなどの落下音を軽減させる為に、作業場には吸音マットや吸音材の活用をしています。今後も継続して活動を進めていきます。

# 環境負荷の低減

## ■ 廃棄物発生量の推移



## ■ 廃棄物発生割合



廃棄物の発生量を低減する為に、歩留まりの向上や排出方法の見直しなどを行っています。また高い割合を占めている廃液に関しては、配管の変更などの対策を行い、処理量の低減を図っています。

## ■ 処理・管理方法を監査



### ● 現地確認

優良認定の有無に関わらず、グループ各社と契約しているすべての中間処理業者の視察を年に1度以上行い、現地の状況や書類の管理状況などを確認しています。

## ■ 全事業所で環境活動を推進



### ● 環境保全委員会

2015年は各事業所の事務局を主導として活動を実施。廃棄物やエネルギーだけでなく、騒音・大気・水質など全ての環境影響について議論を行っています。

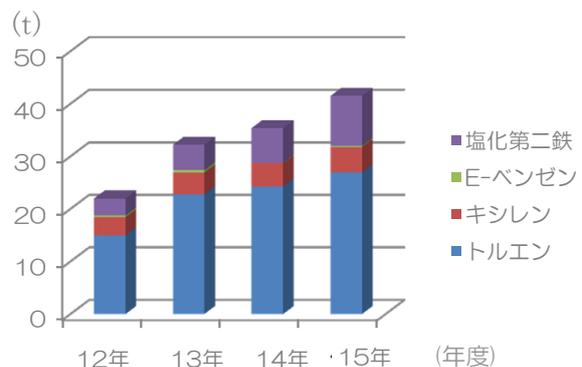
# 環境負荷の低減(化学物質の低減)

## ■ 化学物質管理体制

日本では、人への有害性、環境蓄積性防止のために、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」が定められています。同様の主旨でEUでは、環境負荷物質含有を禁止・制限するELV指令、RoHS指令などがあり、さらにREACH規制への対応が必要になってきました。

2015年は塗料の洗浄に使用している洗浄シンナーをPRTR対象物質の含有量が少ない材料へ変更することで排出量の低減活動を実施しました。

## PRTR対象物質排出量の推移



※2015年豊田市への報告資料を使用 (2014年4月~2015年3月)

## ■地域に根付く環境活動



### ●根川小学校での出張教育

根川小学校の環境教育の一環として、小島プレス社の「工場におけるエコ活動」について出張教育を実施しました。児童からもたくさんの質問が寄せられ、交流を図ることができました。

## ■豊田市の環境を保全する協定協議会

### 〈協定協議会とは〉

豊田市環境保全課を事務局とした36社の企業で構成されており、市内の事業者全体の環境に対する取り組み・技術の底上げを目指すとともに市民の環境に対する理解を深める活動を実施しています。

### 主な活動内容

- (1) 環境取組技術支援セミナー
- (2) 事例研究勉強会
- (3) とよたエコツアー
- (4) 工場見学会
- (5) 産業フェスタ
- (6) 外部講師による講演会
- (7) 環境教本作成部会

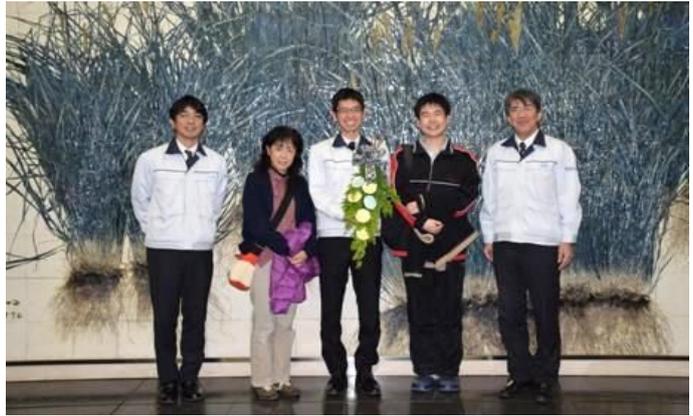


(廃棄物教本)



### ●廃棄物教本作成部会

豊田市内の中小企業向けの廃棄物教本作成部会のメンバーとして月1回程度で会合を実施。各社の環境点検チェック項目の情報集約及び素案の作成を行っています。(H28.3月完成予定)



### ●児童から感謝の手紙

「人に優しくできる人は環境にも優しくなれることが分かりました」など温かいメッセージが書かれた感謝の手紙をいただき、地域社会とともに活動を行うことの大切さをより感じることができました。



### ●環境取組技術支援セミナー

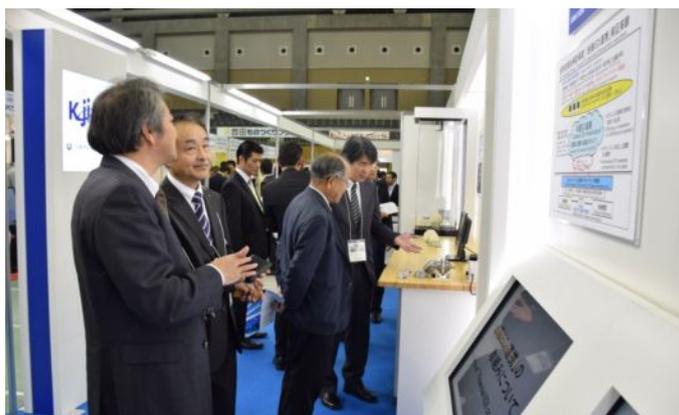
構成員の市内関連企業の環境取組のレベルアップや法令順守を図ることを目的として実施。今年は当番企業として企画の立案や司会進行などを行っています。



### ●産業フェスタ

豊田市民の方々に協定協議会の活動を広く知っていただくために協議会構成会社でメダカすくいやどんぐりの苗木の配布などを実施しました。

## ■ 社外PR活動



●メッセナゴヤに参加

ポートメッセなごやで開催された「メッセナゴヤ2015」やとよたスカイホールで開催された「とよたビジネスフェア」に当社も「マイクロ水力発電」の展示を行いました。ブース内の企業紹介にはpepperを活用し、異業種との交流を図りました。

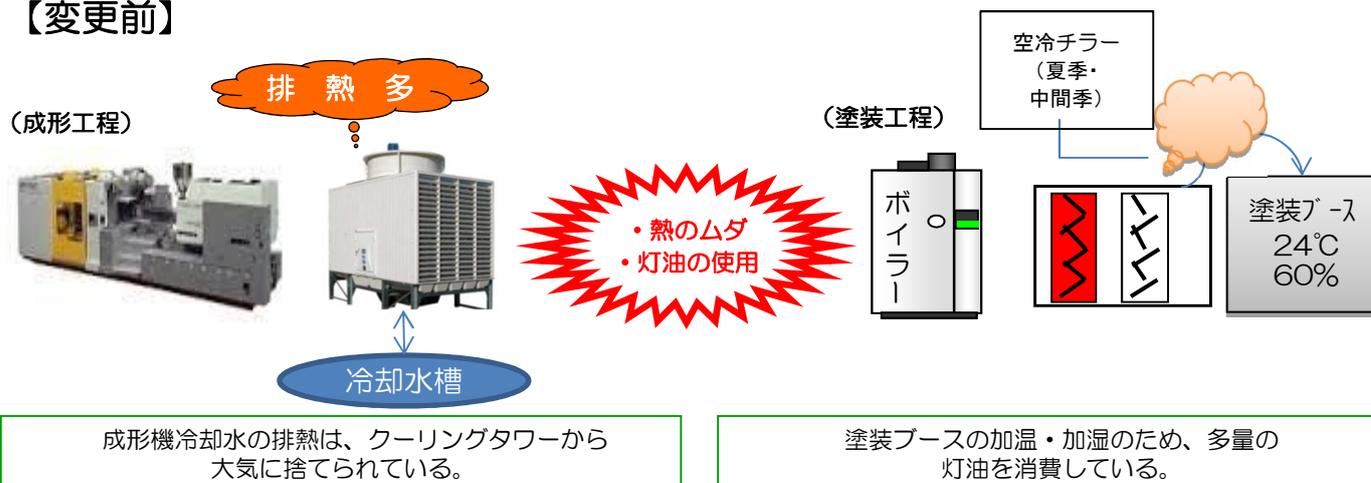
とよたビジネスフェアでは、マイクロ水力発電を事例に挙げ講演を行い、工場の水力を活用する重要性についてPRしました。

●とよたビジネスフェア 講演会

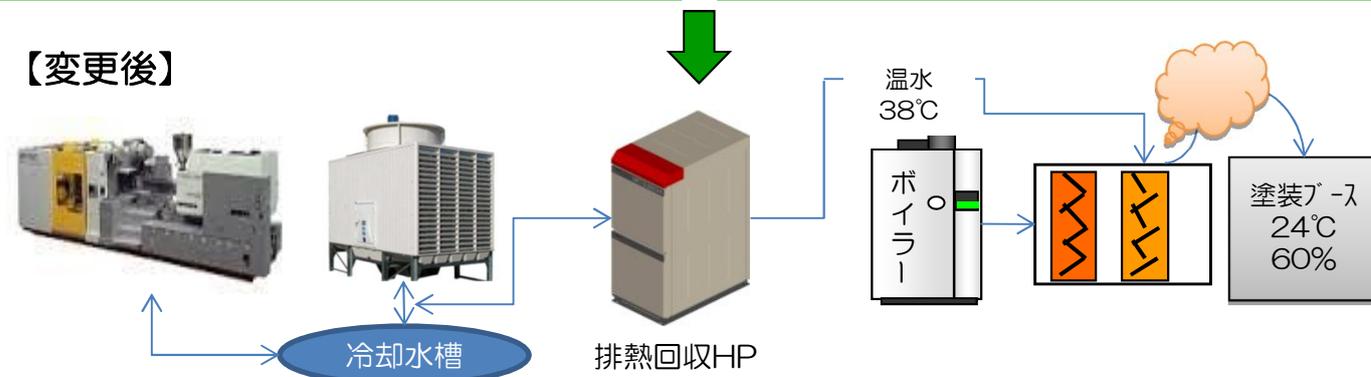
## 環境保全事例の紹介

### ■ 排熱回収チラーの導入によるエネルギー低減(高岡工場)

#### 【変更前】



#### 【変更後】



「排熱回収ヒートポンプチラー」を導入。冷却塔で捨てられていた低温排熱を利用して、塗装ブースの空調に活用する。  
⇒冬季休止中の冷却コイルに温水を流し、外気を余熱(特許第5346828号「空調システム」)  
ボイラー加温の補助を行い蒸気使用量を削減(灯油消費を削減)

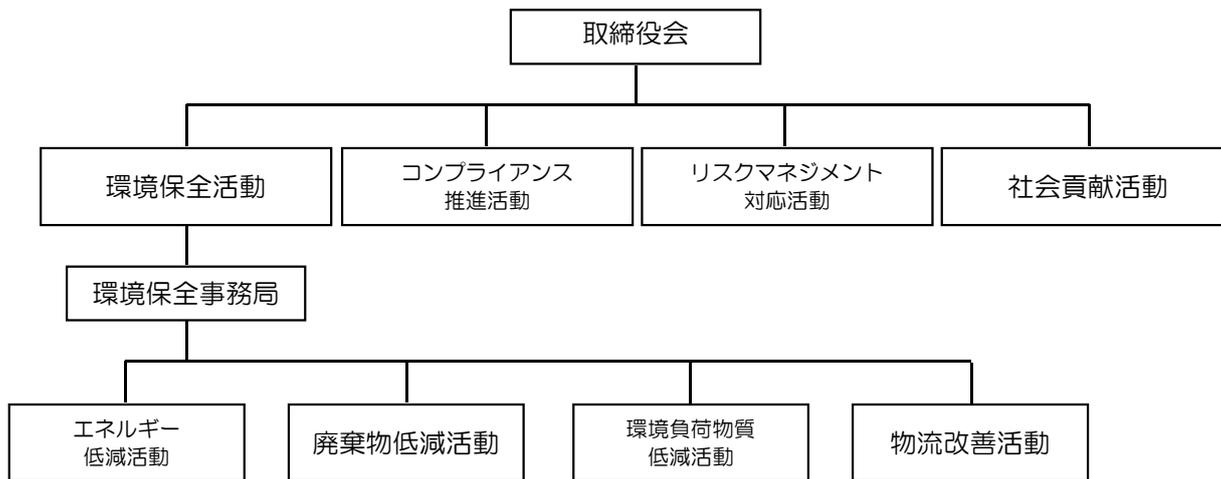
#### 【効果】

灯油(蒸気ボイラー) 162,027L/年⇒101,657L/年  
電気 167,065kWh/年⇒211,957kWh/年  
(差)灯油: 60,370L/年(152.8t-CO<sub>2</sub>)  
-電気: 44,892kWh(16.6t-CO<sub>2</sub>) = **136.2t-CO<sub>2</sub>**



# 社会側面

## CSR推進体制



## リスクマネジメント

### ■防災訓練の実施



#### ●防災訓練の実施

防火デーに合わせて安全確保、消火作業、避難訓練を就業時間に実施。地震速報装置の社内放送を聞いて、社員だけでなく、来客者や工事作業員、清掃員まで訓練しました。

### ■消火競技会へ出場



#### ●消火競技会へ出場

競技を通して消火器の取扱いやケガ人救護の方法を学ぶことを目的として、新入社員を中心に小島プレスから15人の選手が出場しました。

## ■仕入先と共に難局越える



### ●品質機能会議

当社の品質活動を理解していただき、活動に対して大きく貢献した仕入先に対し、賞を贈りました。

## ■質の追求で不具合ゼロへ



### ●品質管理大会

2015年の品質状況の活動報告を行い、2016年の品質方針が示され、全社一丸で品質を守り抜く意識を高めました。

## ■自工程完結 発表会の開催



### ●自工程完結事例の発表会

後工程やお客様に迷惑を掛けないように全ての品質・工程は自部署で完結させるための活動を推進しています。

## ■未然防止による不良低減



### ●担当役員による品質総点検

問題を発生させる前の生準段階で不具合を振り返り、対策することで不良発生 of 未然防止に努めています。

## ■見学の受け入れ実施



### ●TMC調達部の新入社員来社

トヨタ自動車(株)調達部の新入社員12人が樹脂部品のサプライヤー代表として高岡工場を見学されました。新人研修の一環として毎年実施されています。

## ■チーム小島の充実



### ●チーム小島 拠点長会議

海外各拠点の代表者による拠点長会議を開催し、情報共有を図っています。今後もチーム小島で一丸となって活動を進めていきます。

## ■トヨタグローバル仕入先総会にて2賞受賞



### ●2016年トヨタグローバル仕入先総会

トヨタ自動車(株)の2016年トヨタグローバル仕入先総会が、名古屋国際会議場で開かれました。国内外から多くの仕入先が集まる中、当社は原価改善優秀賞、TNGA推進優良賞の2つの部門で受賞しました。

なかでも原価改善優秀賞は36年連続受賞となりました。今後も得意先にとってなくてはならない会社であるために活動を続けていきます。

## ■こじま展の開催



お客様に必要とされる製品を造り続けるために、展示場を本社内に設け、会社概要の紹介やプレゼンを行っています。今後もシンプルで分かりやすい展示を目指してまいります。

## ■人とくるまのテクノロジー展への出展



横浜市のパシフィコ横浜で「人とくるまのテクノロジー展」が開催され、当社のブースにも多くのお客様にお越しいただきました。今後も様々な場で人・車・環境が共存した技術を提案してまいります。

## ■ 社内の教育制度を強化



### ● 社長講話

教養ある人材を育成する場として「こじま教育センター」を開校し、内製で運営しています。開校式では、社内の指導員に対して小島社長の講話を行いました。

## ■ スピードを持った意志疎通



### ● オール小島へのライブ配信

8月より朝礼を始めとする各種イベントにおいて、オール小島へのライブ配信がスタートしました。同じ日に最新の情報を共有することで全社員のベクトルを合わせていきます。

## ■ 健康管理活動



### ● 健康管理センター(企業内診療所)

生活環境の改善を目的とした禁煙や運動の指導、メンタルヘルスの向上などの指導を行っています。今後も安心して働ける企業作りを進めています。

## ■ 福利厚生施設の活用



### ● やわらぎ森のスタジアム

オール小島の社員やその家族のための福利厚生施設として、「やわらぎ森のスタジアム」を設営し、社員の健康で健全な体をつくる場として活用しています。

## ■ 技能五輪大会への挑戦



### ● 技能五輪大会

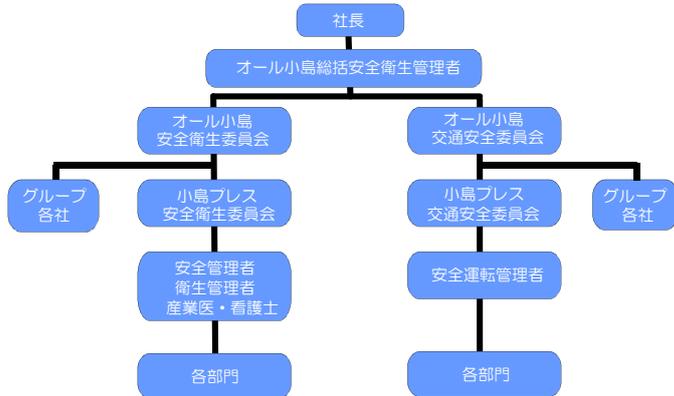
第53回技能五輪全国大会（機械製図職種）に、人事課の山本さん、吉本さんが愛知県代表選手の一人として出場しました。今後も世界レベルで活躍できる人材育成に努めていきます。



### ● 太極拳の開催

運動するきっかけづくりの一つとして健康管理センターに専門のトレーナーを招き、隔週金曜日に太極拳、毎週水曜日にリフレッシュエクササイズを行っています。

## 安全 組織図



## ■ トップによる安全点検



### ● 社長による安全点検(各事業所年2回)

トップが現地現物で各職場を確認し、安全衛生活動の進捗状況の確認・指導を行うことで、安全意識の徹底を図っています。

## ■ オール小島安全衛生委員会



### ● 委員長(担当役員)による安全点検

災害の種類ごとにテーマを決め、テーマ別でのグループ研究会を行うことで、より迅速に災害対策を実施できるよう努めています。

## ■ オール小島安全大会



### ● オール小島安全大会

日本クレーン協会東海支部の事務局長をお迎えして講演会を実施するなど、安全意識の向上を図る活動を行うとともに、活動の振り返りを行うことで安全への決意を新たにしています。

## ■ 交通事故撲滅に向けて



### ● 交通安全委員会

日々の事故事例から傾向をつかみ、対策を実施しています。今後も交通事故撲滅を目指し、活動を進めていきます。



### ● オール小島交通安全大会

豊田警察署の副署長と課長をお迎えして、安全運転に対する講演をいただき、交通事故撲滅に対する意識を高めました。



### ● ドライブレコーダーの導入

すべての社用車にドライブレコーダーを導入することで、安全意識の向上を図っています。

## ■中国・青海省から技術研修生を受け入れる



### ●現場実習

中国青海省から研修生の受け入れを始めて今年で9年目。研修生は技能・技術の習得に積極的に挑戦しています。2年間の教育を終えて、帰国後も活躍しています。



### ●研修成果報告会

中国駐名古屋総領事館の丹増朗傑副領事をはじめ多くの来賓を迎え、第9回日本語弁論大会を開催しました。生産技術だけでなく、日本語の習得にも取り組んでいます。

## ■各国の文化交流を深める



### ●青海日本文化交流のつどい

当日は1300人におよぶ参加者が集まりました。日本からは南山大学の学生も参加し、青海省の学生との文化交流を楽しむなど相互理解を深めました。



### ●工場見学

アジア各国より留学生を受け入れ、こじま留学生寮を提供しています。この受け入れは帰国後も国境を越えて交流が続くことを願って実施されています。

## TOPICS

### ■やわらぎのつどいにて演舞を披露



#### ●海外拠点スタッフと交流



#### ●KACの社員がメキシカンダンスを披露

「グローバル交流の祭典」をコンセプトに掲げ、第42回やわらぎのつどい～こじまフェスティバル～が盛大に開催されました。今年はメキシコから社員が参加し、メキシカンダンスを披露するなど、ますますグローバルを肌で感じられる大会になりました。

## ■地域住民との交流



### ●地域観桜会

地域観桜会や納涼盆踊り大会などのイベントを開催しています。地域住民の方々と交流を深めています。



### ●地域清掃

地元神社や会社・寮周辺の地域清掃にも積極的に参加し、町を自主的にきれいにする活動を行っています。

### 地域との交流活動(抜粋)

- 自社活動
  - (1) 地域清掃  
(各事業所周辺および地元神社)
  - (2) 防犯活動意見交換会
  - (3) 防犯パトロール
  - (4) 納涼盆踊り大会
  - (5) 観桜会
- 地域のイベントに参加
  - (1) ふれあいフェスティバル
  - (2) 朝BAKE

## ■こじま福祉会の活動



### ●豊田市さくらワークス

豊田市とこじま福祉会の官民一体の身体障害者通所授産施設さくらワークス(現在の豊田市さくらワークス)では、施設生活訓練や就労訓練を中心に活動を行っています。



### ●自立と感謝のつどい

感謝の気持ちを示す「第13回自立と感謝のつどい」を、豊田市さくらワークスにて開催しました。式典には、愛知県の堀井奈津子副知事や豊田市の太田稔彦市長をはじめ、多くの来賓の方が参加されました。



### ●ちびっこパトロールの実施

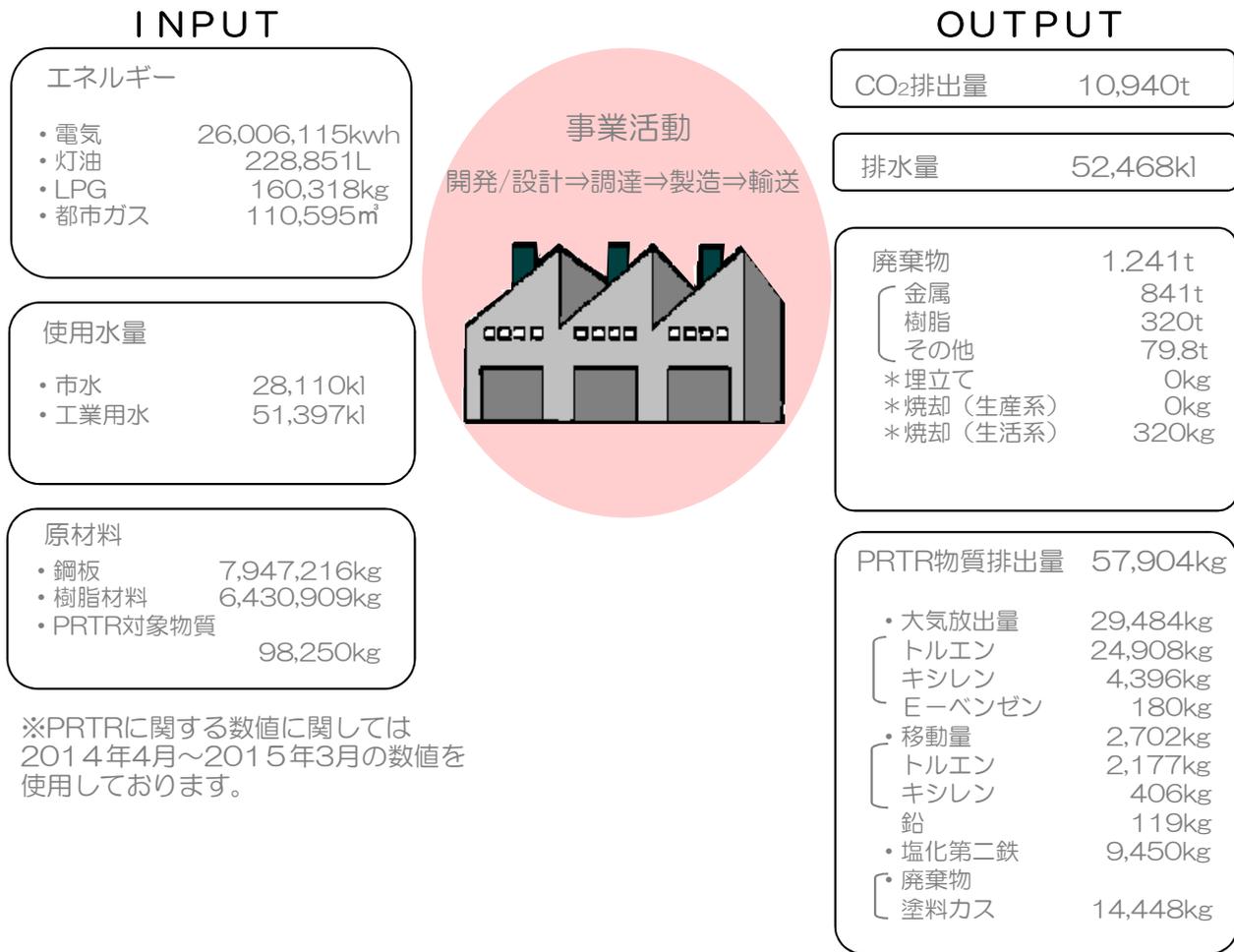
豊田警察署の交通課、生活安全課の警察官と一緒にパトロールを実施しました。パトロールマニュアルの確認に同行することで、子ども目線で危険場所を確認しました。



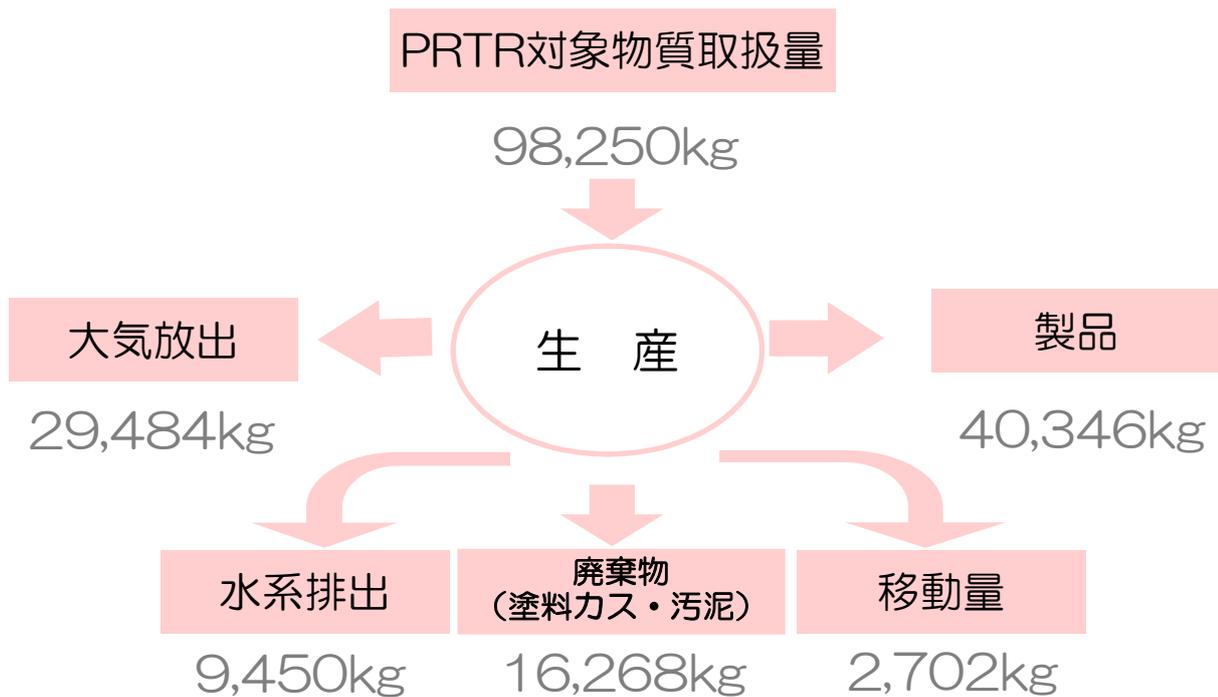
### ●シートベルト着用の呼び掛け

豊田警察署と地域住民、こども園園児、当社の新入社員が一緒になり、運転者に対して、園児手作りのチラシを渡してシートベルト着用を呼び掛けました。

## ■物質・エネルギー収支



## ■PRTR対象物質収支



## ■環境測定データ

### 【本社・下市場】

#### 1. 大気

設備名	項目	基準値	測定値	評価
吸収式冷温水機	ばいじん排出量	0.3g/Nm <sup>3</sup>	—	—
	窒素酸化物濃度	180ppm	44	○
吸収式冷温水機	ばいじん排出量	0.3g/Nm <sup>3</sup>	—	—
	窒素酸化物濃度	180ppm	48	○

#### 2. 水質

項目	基準値	測定値		評価
		最大	最小	
PH	5.7~8.7	8.1	6.2	○
BOD	300	120	19	○
SS	300	60	1	○
ルマルハキツ (鉱油)	5	0.5	0.5	○
ルマルハキツ (動植物油)	30	7.6	0.5	○
亜鉛	2	1.3	0.01	○
窒素	150	6.8	0.3	○
燐	20	0.67	0.02	○

### 【高岡】

#### 1. 大気

設備名	項目	基準値	測定値	評価
ボイラー AI-750SK	ばいじん排出量	0.3g/Nm <sup>3</sup>	0.003	○
	窒素酸化物濃度	180ppm	73	○
ボイラー AI-750ZS	ばいじん排出量	0.3g/Nm <sup>3</sup>	0.004	○
	窒素酸化物濃度	180ppm	81	○

#### 2. 水質

項目	基準値	測定値		評価
		最大	最小	
PH	5.8~8.6	7.8	7.3	○
BOD	15	11	0.5未満	○
SS	15	10	2	○
ルマルハキツ	2	0.5未満	0.5未満	○
銅	0.5	—	—	—
亜鉛	1.5	0.84	0.04	○
クロム	0.5	—	—	—
窒素	60	51	3.2	○
燐	8	4.9	0.59	○
COD	160	—	—	—

 **小島プレス工業株式会社**

発行：2016年4月1日

連絡先：総務部 安全衛生環境課  
TEL:0565-34-6530